

厚生労働省後援（予定）

公益社団法人日本歯科医師会・公益社団法人日本歯科技工士会共催

受講
無料

歯科技工士生涯研修基本研修課程5単位 「感染症予防歯科技工士講習会」

日時：2024 年 6 月 9 日（日）10:00～13:00

会場：県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 801 会議室

第一部 「歯科技工における感染症対策 ～病原微生物の基礎知識～」

講師：石原 和幸先生（東京歯科大学微生物学講座教授）

第二部 「補綴領域の感染対策について学ぼう —国家資格を持つ医療従事者であるために—

講師：大西 正和先生（日技認定講師）

皆様は、日頃の技工作業の際に感染症の危険性を考えたことがありますか？

歯科技工士は、直接患者さんに接しないことから、概して感染症に対する意識が低いと言われています。

しかし、歯科症例の約 46 件に 1 件が、HIV 感染症、B 型肝炎、C 型肝炎のいずれかの感染症例であるという状況下で技工作業は行われています。とくに、B 型肝炎ウイルスは、感染力が強いうえに、乾燥した状態でも 1 週間は感染性を失わないという報告があります。したがって、私たちが補綴装置等を完成させるまでの間、たえず感染のリスクに曝されていると言えます。

そのような歯科技工の作業環境からは、歯科技工士の教育課程で、微生物や感染症に関するカリキュラムを充実させることが必要ですが、最短 2 年間という教育年限ではそれもままなりません。

そこで、日本歯科技工士会では、平成 14 年に各都道府県歯科技工士会の協力により「感染症予防歯科技工士講習会」を開始し、毎年、全国で 2～5 の都道府県の開催を経て、現在に至っています。

本講習会の第 1 部では、歯科技工士として知るべき病原微生物や薬剤の基礎知識を、第 2 部では、感染対策の具体的な考え方と手法を学ぶことができ、その詳細を解説したテキストも配布します。

本講習会は、歯科関係者であれば誰でも無料で受講できますので、職場の同僚やご親交のある歯科技工士、歯科医師や歯科衛生士の方々もお誘いのうえご参加ください。

受講申込書（5/31 締切）

受講者名	☐ 歯科医師 ☐ 歯科衛生士 ☐ 歯科技工士	勤務先名
住 所 〒		
※受講者各人に修了証を送付するためにのみ使わせていただきます。		
電話	参加方法	☐ 会場受講
FAX	メールアドレス	

申込先：和歌山県歯科技工士会 岡本 メール：toraya.hotetsu@gmail.com FAX：072-489-6885

石原 和幸(いしはら かずゆき)先生

- 1985年 東京歯科大学卒業
- 1989年 東京歯科大学大学院歯学研究科（微生物学専攻）修了
- 1989年 東京歯科大学微生物学講座 助手
- 1992年 アメリカ合衆国 Texas 大学, New York 州立大学に留学
- 1994年 東京歯科大学微生物学講座 講師
- 2000年 日本細菌学会黒屋奨学賞受賞
- 2002年 東京歯科大学微生物学講座 助教授
- 2007年 日本歯周病学会学術賞受賞
- 2008年 東京歯科大学微生物学講座 教授

現在、東京歯科大学微生物学講座教授、日本歯周病学会 理事を務める他、日本細菌学会・歯科基礎医学会・東京歯科大学学会・国際歯科研究学会にご所属

ご研究領域は「常態系口腔科学」、「細菌学」他。日技の感染症予防歯科技工士講習会では、2024 年度より主幹講師として全国都道府県にてご講演をいただいている。

大西 正和(おおにし まさかず) 先生

- 1971年 大阪大学歯学部附属歯科技工士学校卒業
- 1972年 大阪大学歯学部附属病院歯科技工研修科修了
- 1972年 大阪大学歯学部附属歯科技工士学校臨床実習指導教官に採用
- 1974年 日本銀行技術職員として同大阪支店歯科診療所に入職
- 2005年 日本歯科技工士会生涯研修認定講師に就任
- 2011年 大阪大学非常勤講師に採用（歯学部附属歯科技工士学校担当）
- 2016年 大阪大学委託講師（歯学部附属歯科技工士学校担当）に採用
- 2017年 広島大学客員講師に採用（歯学部口腔健康科学科担当）

本テキスト「歯科技工士のための感染知識と対策例」を奥田名誉教授と3度にわたり執筆。日本補綴歯科学会学術大会などでの講演、2005年の『日本歯技』投稿では最優秀論文賞を受賞。その他「QDT」、「歯科技工」、「DE」への投稿など補綴領域における感染対策に係る多数の学術実績を持つ。
